

回遊と滞留空間の分離による魅力あるまちづくり

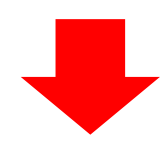
主催：秋葉原電気街振興会

1.活動の狙い

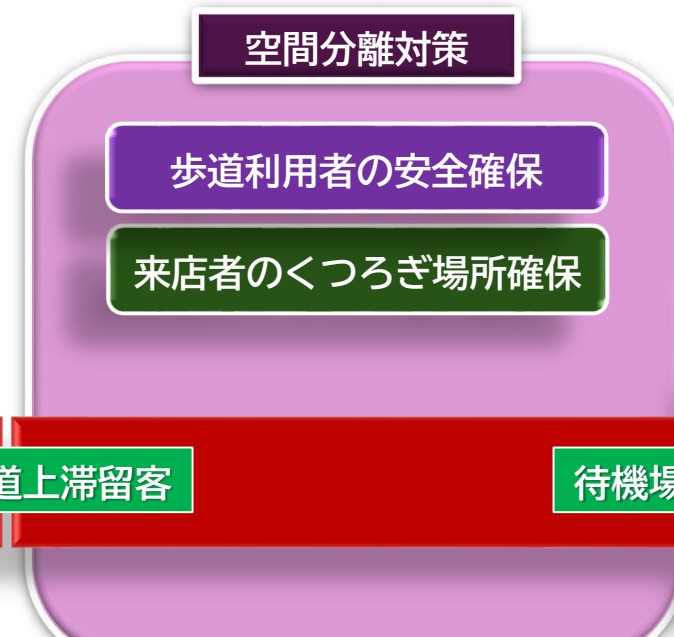
狙い①

歩道利用者の安全確保

多くの来街者いるが、人々が滞留するための空間が存在しない。



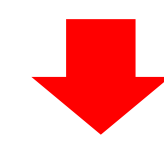
歩道空間の混雑や来街者の休憩場所不足といった課題が発生。



狙い②

来街者のくつろぎ場所確保

歩道をベンチが設置された休憩場所として、歩行者を誘導する。



歩道利用者の安全確保、来街者のくつろぎ場所確保を目指す。



2.どんな活動を行ったか

実施場所

ラオックス秋葉原本店とオノデンの間の区道

実施期間

2025年10月5日、12日
13～17時(歩行者天国実施中)

活動内容

道路空間に滞留の場を設置
滞留空間周知用のぼり旗を設置
分別可能なゴミ箱を設置



実施場所周辺地図

© OpenStreetMap contributors
https://www.openstreetmap.org/copyright



滞留空間(入口付近)



滞留空間(ベンチの設置)



のぼり旗の設置



入口付近での誘導



分別可能なゴミ箱の設置

3.活動の成果

成果①

歩行空間と滞留空間の分離により、歩道の混雑が緩和された。

成果②

設置した休息スペースが多くの来街者に利用された。

成果③

関係する多くの団体の協力を通して、街での連携が深められた。

活動実施期間外



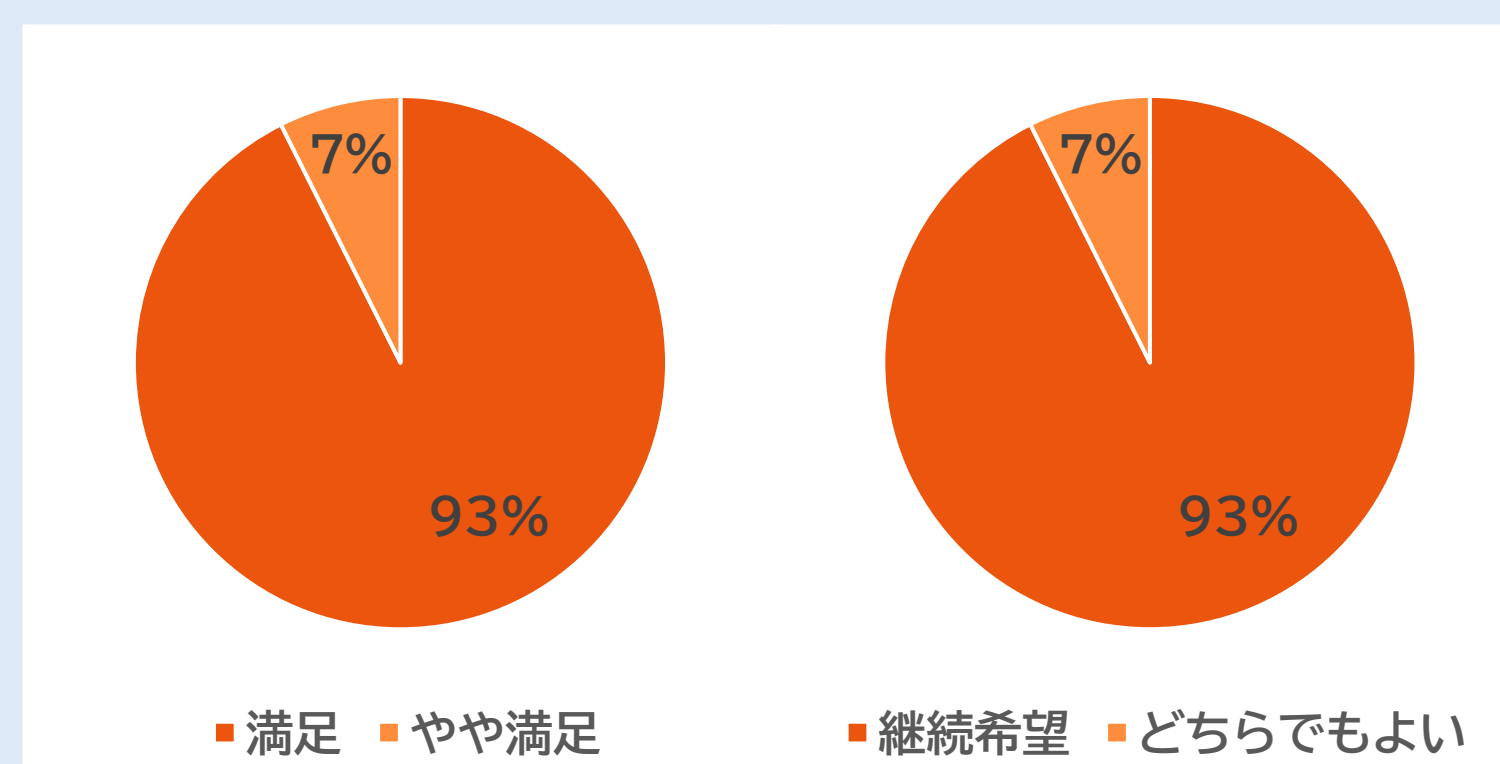
活動実施中



活動実施期間中に、歩道上の混雑が緩和された

4.これからの展開

アンケートより、9割以上が本取組に満足し、継続的な活動を望んでいることが分かった。継続的にエリアを広げたり、開催時間を伸ばすなど、気持ちの良い環境街づくりをめざして、活動を進めていく。



アンケート結果